

明けましておめでとうございます。新しい1年の始まりです。

新しい年が始まりました。去年は「中学校生活最後の～」が何度もあり、ついに最後の学期です。西中を卒業する日まで数えてみるとあと40日の登校があります。学校生活も残りわずかです。それは義務教育の最後の段階でもあります。まだ幼かった頃から当たり前のように地元の学校に進学し、みんなが同じ制服、同じ授業、同じ学校生活をしてきました。4月からは個々の選択により、それぞれが別の道を進むこととなります。進学する人、就職する人、県外に行く人、さまざまな道があると思います。4月からの新しい生活に思いをはせ、残り少ない西中での生活を大切にしてください。今まで培ってきた力を発揮し、西中での生活も勉強も全力で取り組み、4月からの新生活に向かって大きく羽ばたいていきましょう。

< 主任 西田先生 >

暖かい風が吹き始めたらみんなとの別れが近づくということですね。当たり前のことはなくして初めて気付きます。ただもうそれに予想がつかず、仲間との日々を「当たり前」ではなく、「有り難し」と思っ大切にすることのみです。これからの日々も皆らしく今を全力で。



< 1組 福地先生 >

ついこの間進級したのに、あっという間に年が明けました。この調子だと卒業までの時間もあっという間ですね。目の前にあるものに全力を尽くし、忙しくも充実した日々を駆け抜けていってください。



< 2組 上杉先生 >

学校で今のメンバーと過ごすのもあと少し。きっと、何気ない友人との会話も勉強を頑張ったこともどんな日常もすてきな思い出になるはず。一瞬一瞬を大切に過ごしてくださいね。



< 3組 川口先生 >

『幸せ』
「努力は幸せになるための手段ではない。努力そのものが幸せを与えてくれる。」～トルストイ～
今、努力ができて環境にありがたみを感じて、残された中学校生活を一緒にすごしていきましょう。



< 4組 舟橋先生 >

目の前に「受験」が迫ってきましたね。平日は最低5時間、休日は最低10時間勉強して、ライバルに差をつけよう。
「明るく日も 明るく日も どれだってひとつきり」
友達と過ごす「このいま」を大切にしましょう。



< 5組 愛先生 >

ついに“最後”の3学期です。すべてをかけて、全力で過ごしましょう。みんなが、卒業式、さいっつこうの笑顔と涙であることを願っています。



< 副担 真理子先生 >

2025年は中学校卒業、そしてそれぞれの道へ歩んでいく年ですね。みなさんにとってステキな1年になるように、願っています。残りの中学校生活1日1日を大切に過ごしてくださいね



< 副担 侑希先生 >

「自分の人生を豊かにするために、今日私は何になり、何を選択する？」毎朝自分に問かけることの一つです。すべては選択だと思っています。何があったとしても、そこで自分がどう「在る」のかは自分で選ぶことができます。さあ2025年。かけがえのないあなたの今を生きる。



< A組主任 深谷先生 >

これから始まる1年間は、出会いも別れも、数々の新しい経験も、何もかもがきっと記憶に残るものになることでしょう。思いっきり楽しんでほしいと思います。幸せな季節がみなさんに訪れることを祈っています！



< A組担任 山本先生 >

残り短い中学校生活を大切にしてください。卒業式では立派な返事と思いのこめられた素敵な歌を聞きたいです。全員でいい卒業式をつくり上げてください。

